

皆さんの詩への感謝

2022 年 12 月 27 日

読者の皆さん

幸せな年の瀬をお迎えのことと思います。

もう一年も終わりに近づいているなんて信じられますか？ 毎年、すっかり祝祭日気分に取り囲まれつつ、自分自身にこう問い掛けます。そして毎年、振り返ってシッダ・ヨーガの道で繰り広げられたものごとを適切に表現する言葉を持たないと気づく時、「今年は何という年だったのだろうか!」としか言えません。

2022 年も同じことが当てはまります。とりわけ、今年の締めくくりは、光と踊っているように感じました——今月初めに私が送った、2022 年のグルマリーの「季節のあいさつ」に対するあなたの体験を明瞭に表現するようにという招待に応えて、皆さんが書いた詩から来る虹色の光です。その時皆さんにはまた、グルマリーが「季節のあいさつ」に関しての彼女自身の体験の一つを表現して書いた美しい詩、「私のグルへの祈り」を読む機会がありました。

皆さんの詩に非常に意味深さを見つけた理由の背景として、私自身の詩との関係について少しお話ししたいと思います。これまでずっと私は詩を読んでいて、この 10 年近くは書いてきました。ことに、グルマリーの教えの体験とサーダナーにおける私の洞察には、より書き慣れていた散文の約束事がしばしば表現の邪魔になることに気づき始めたからです。詩は私にとって探索のための公開討論の場であり、遊び場となりました。それは私にとって、自分自身でいられる——そしてそれが誰であるかを発見できる——一種のわが家のようなのです。

時折、他の人の詩を読んでいると、わが家のこの場所に連れ戻されます。ですから、グルマーイの「季節のあいさつ」についての皆さんの詩を読んで、何度も何度もそこに帰ることができた私の喜びを想像してみてください。

SYDA ファウンデーションのウェブサイト部門は、あらゆる年代と世界中の至る所から、シッダ・ヨーギの詩を受け取ったと聞きました——オーストラリアからスイスに至るまで、日本から米国に至るまで、インド、南アフリカ、トルコ、ブラジル、イタリア、ドイツ、フランスなどからです。リストは続きます。中には複数の詩を送ってくれた人もいます。実際、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトには、これまでに何と 100 を超える詩が掲載されています。書き手として、ひとたび創造の流れが始まると止められないことを知っています——ですから、2023 年が到来した時、皆さんがサーダナーでの体験を表現する新鮮で輝かしい方法を見つけ続けていける、と自信を持って言えます。

今日これを書いている主な理由は、皆さんがささげてくれたこと——あなたの愛、あなたの信奉、シッダ・ヨーガの道への真剣な取り組み、シッダ・ヨーガのサーダナーへの献身、学びの成果、そしてあなたが達成したことから得た恵み——への心からの感謝を表すためです。このすべては、2022 年のグルマーイの「季節のあいさつ」について皆さんが書いた詩に明らかでした。

何人かの人から聞いたこと——この試みがとても新鮮に感じられたこと、また、おそらく、自分のことを詩人や文筆家であるとかこれまで考えたことはなかったということ——を考慮に入れると、より一層感銘を受けました。そして、まさに詩がどれほど個人的なことになり得るのか——詩の韻律、論法、美学、その意味がどれほどあなたの延長のように感じられるのか——ということも認めたいと思います。他の人たちに自分の詩を分かち合うことで、あなたは自分自身の一部、最も特別で神聖な何か、あなたの最も内側の深い世界の一端を分かち合いました。

そしてあなたは、勇敢さ、熱意、直観力と芸術性をもって、本当にここでやってみました。クリシュナ神のフルートの音楽に反応したゴープーたちのように、あなたもグルの言葉に反応しました。2022 年のメッセージでグルマーイは言っています。「スノー…(「聴きなさい…」)」。そしてあなたがしたことは、まさにそれです。あなたは聴きました。

結果として、ここ数週間にシッダ・ヨーガの道のウェブサイトを訪れた人は誰もが、皆さんのたくさんの寛大な行為から恩恵を受けることができました。私のシッダ・ヨーギの友人たちは、皆さんの詩によって、自分たちがどれほど触発されたか、そして他の人が書いたものを見ることで、自分もやってみよう、「季節のあいさつ」の詩を作る挑戦を試みようとどれほどやる気にさせられたか、私に話しました。

個人的には、皆さんの詩を読んで、「季節のあいさつ」について、当初よりさらに気づくことができました。そして——こんなことがあり得るとは思いもしませんでした——私は、さらに一層感謝するようになりました。私が最初に詩を書くことへ招待した時、私のシッダ・ヨーギの仲間である皆さんが、その率直さと創意工夫で、私を完全に仰天させるとは思ってもみませんでした。シッダ・ヨーガの道を歩んでいる私の——私たち全員の——人生が、どれほど祝福されているのか思い出させてくれました。

ありがとうございます、グルマーイ。ありがとうございます、皆さん。

心を込めて

イーシャ・サーデサイ



© 2022 SYDA Foundation®. 著作權所有。